

電解反応を用いたリグニンの 環境調和型分解反応系の開発

オンライン
(zoom)開催



ご登録はこちら

参加費

無料

2024年10月30日(水) 12:30~13:20

Associated
Mission

Mission2

太陽エネルギー変換・高度利用

Mission5

高品位生存圏

謝 氷

生存圏研究所
ミッション専攻研究員

Keyword

- ◇ バイオリファイナリー
- ◇ リグニン
- ◇ バイオミメティクス
- ◇ メディエーター
- ◇ 電解反応

リグニンは木質バイオマスの主要成分の一つであり、地球上で最も豊富な芳香族ポリマーとして、プラスチックや医薬品などの原料となる芳香族化合物の生産への利用が期待されています。しかし、その複雑で難分解性の芳香族高分子構造ゆえに、温和な条件下での高効率な分解は大きな課題となっています。自然界では、白色腐朽菌が低分子化合物をメディエーターとして、リグニンを常温常圧下で効率よく分解する酵素反応を起こします。本発表では、この自然のメカニズムに着想を得て開発された電解メディエーターシステム(EMS)に焦点を当て、リグニンの酸化分解反応に関するこれまでの研究成果と、新たな分解反応系の開発に向けた最新の取り組みについてお話します。



定例オープンセミナーは、生存圏の様々な研究を相互に理解すべく、ランチタイムに気軽に行っている講演会です。*不定期水曜日開催

https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/open_seminar_2022/

お問い合わせ

京大生存圏研究所定例オープンセミナー事務局

TEL : (0774)38-4609

